

大工不足へサッシ付きパネルを加速

解体工事業にも参入 ナカザワ建販

ナカザワ建販(大阪府和泉市、中澤秀紀社長)は、大工・職人不足対策の一つとしてパネル化を推進していく。同社では各種パネルを製作し、今後住宅会社とともにサッシ付きパネルや断熱材、防水紙、外装材なども含めたパネル化の施工検証を進めていく方針だ。また、大阪府、兵庫県の一部地域で解体工事業に参入する。同社では「これからは解体しないと新築は建てられなくなっていく。10月からは解体時のアスベスト調査報告が義務化され、これにも対応していく」と話している。

同社を中核会社とし、工場建屋の打ち合わせたナカザワホールディングス(同)では、滋賀県甲賀市に月間加工能力1万1000坪の大型プレカット工場の建設を決め、造成から



ネオスマートパネルの施工現場

工場建屋の打ち合わせたナカザワホールディングス(同)では、滋賀県甲賀市に月間加工能力1万1000坪の大型プレカット工場の建設を決め、造成から隣接地にパネル工場を建設し、滋賀工場でもパネル生産を計画している。

パネル化は、現在の吉備工場(和歌山県田部)での生産に加え、和歌山第一工場の隣接地にパネル工場を建設し、滋賀工場でもパネル生産を計画している。

パネル化の推進に当たりサッシの取り扱いが必要と考え、ナカザワ建販が工を設立し、パネル化の推進とともにサッシ付きパネルなどの施工実証を進めていく。

さきごろ、関西住宅販売が兵庫県内にて建設するモデルハウスにネオスマートパネルを採用し、サッシ(三協立山・トリプルスマージュII)と外張り断熱(ネオマフ

造作用集材も

JAS製品

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

集成材/CLT
木造建築/バイオマス

銘建工業株式会社
〒717-0013 岡山県真庭市勝山1209
TEL: 0867-44-2695
<https://www.meikenkogyo.com/>

キマでかけた。ナカザワ建販では、新築現場の施工合理化を進め、施工現場も今後4週8休制になることを踏まえ、20%は生産性を高めないと従来どおりの棟数を施工できなくなると捉えている。

解体工事業に参入し、特に今年10月からはアスベスト事前調査が義務化されるため、アスベスト調査分析会社とともに解体工事も大阪府内で月間20棟規模で開始する。

ウッドショックを機に上昇した木材価格は、昨年6月を境に潮目が変わり下がり続けている。

急騰の引火点となった2021年春から4、5カ月足らずで2〜3倍に跳ね上がった内外産製材や構造用集材は、1年余りをおいて、従来の価格水準に引き戻されつつある。

既に、先んじて値下がりした柱材では、Wウッド集成管柱が6万

8000円(プレカット工場着、立方材)前値で、ピーク時の半値となった。

製材や構造用集材は、一部林業家から「この価格が維持されれば、国産材の持続的

だ底堅さを見いだせていない。

輸入製品につられて値上がりした国産材丸太は、一部林業家から「この価格が維持されれば、国産材の持続的

我々は何を得、何を学んだか

原油高、円安、物流とあらゆる商品が値上がりの上昇などの複合的な要因が絡まり合い、ウッドショックを追い上げた。供給機能は働いたのか、こうしたなか、内外

原産高、円安、物流とあらゆる商品が値上がりの上昇などの複合的な要因が絡まり合い、ウッドショックを追い上げた。供給機能は働いたのか、こうしたなか、内外

産製材や構造用集材は、なぜ早々に値下げに転じたのか。

理由はひとえに、供給過剰で需給調整が遅れたからだが、それはなぜか。

一本調子で値上がり続けた市況の潮目が変わるや否や、損切りと言わなければならない内外産製材や構造用集材の相場は崩れた。

値下げに乗り遅れば、高値を前に損が膨らむという警戒感や疑心暗鬼、さらには、国産材製材は値下げ局面にあってもなお、従前より相場は居所高で、生産すればもうけが出た

ここで生産調整が先延ばされた。結果的に、底打ちの合意形成が遅れている。

これに対して、国内の合板メーカーは合板の価格の高値に力を得て、2〜3割の減産を断行することで相場維持に努めている。

それでも、実需の不振にはあられがえず、相り振にはあられがえず、相場下落の局面を迎えているが、ピーク時から半値にまで落ち込んだ内外産製材や構造用集材の値下げ幅に比べ、下落ピッチは緩やかだ。木材(製材、集成材)、業界と合板業界との需給緩和機能の差とも考えられる。

第3次ウッドショックとは、木材業界に瞬間風速的に恩恵をもたらしただけの単なる襲撃だったのか。それとも、何らかの変革を迫る転換点だったのか。7回の連載予定で考えていきたい。(つづく)

第3次ウッドショック 襲撃か変革か

板は、昨年6月の2000円(12ミ、3X6判、問屋着、枚)をピークに値下がりし、現在は1600円(同)を巡る攻防だが、いま

昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻をきっかけにした石化製品の値上がりにより、建材から住設機器、副資材に至るまで、あり

まぼろしの新価格体系

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区木場2-23-4
編集 電話 ☎03-3820-3500 FAX03-3820-3519
総務 電話 ☎03-3820-3511 FAX03-3820-3518
<https://jfpj.jp/>
e-mail info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2023
本紙の集郵省製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

新しい木の時代へ

Kickoff
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

日刊木材新聞社
支社・支局

大阪支社
☎06-6534-4300
Fax 06-6534-4331

中部支社
☎052-251-2025
Fax 052-241-1160

中国支社
☎082-231-2285
Fax 082-293-9788

九州支局
☎096-352-1856
Fax 096-322-6005

東北支局
☎022-239-4430
Fax 022-231-3474

主な記事

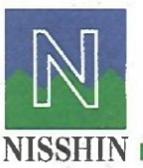
- ▽3面 米材高騰(丸太・国内挽き) 6月積み2ヵ月連続横ばい
- ▽4〜7面 建材版 ベット用建材 裾野広く市場拡大続く「ベットも快適」が切り口
- ▽8面 ヤキソワ 8月に高速送料車を導入



古事記編さん 1300年
神々の國 島根



国産すぎ・ひのきで優れた性能の構造用合板



島根合板株式会社

〒697-1326
島根県浜田市治和町口 895-2
TEL.0855-27-1625
FAX.0855-27-3685
E-mail:shimane@nisshin.gr.jp
URL:<https://www.nisshin.gr.jp>